



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月31日

上場会社名 ハリマ化成グループ株式会社
 コード番号 4410 URL <http://www.harima.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月7日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 長谷川 吉弘
 (氏名) 金城 照夫

TEL 06-6201-2461

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	54,919	12.5	679	△4.5	2,238	146.8	484	334.3
25年3月期第3四半期	48,807	△11.6	711	△76.8	906	△52.8	111	△90.0

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 1,150百万円 (—%) 25年3月期第3四半期 △305百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	18.65	—
25年3月期第3四半期	4.30	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	66,785	30,461	43.5
25年3月期	61,355	29,822	46.5

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 29,056百万円 25年3月期 28,510百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
26年3月期	—	7.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	73,500	14.5	1,200	108.1	1,600	12.6	100	△53.7	3.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	26,080,396 株	25年3月期	26,080,396 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	131,392 株	25年3月期	131,247 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	25,949,091 株	25年3月期3Q	25,949,207 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
参考資料	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国では金融緩和策の量的縮小への動きがみられたものの緩やかな回復基調が続きました。欧州では債務問題の長期化による経済の低迷が続いており、中国等の新興国経済の成長鈍化などにより、全体として低調な状況が続きました。一方、日本では政府の経済・金融政策を背景とした、円安・株高などが進み、輸出環境や企業収益の改善が見られるなど、景気は回復傾向が持続しました。

当社グループを取り巻く経営環境は、海外事業につきましては、欧州景気低迷の影響を受け、欧州を主力市場とするローター社の業績が、依然として厳しい状況ですが、円安の影響により海外売上高が増加しました。一方、国内事業につきましては、大幅な円安の影響で海外から調達している主原料の価格の上昇が続きました。喫緊の課題として製品価格への転嫁に努めましたが、国内業績は厳しい状況が続きました。

その結果、当社の当第3四半期連結累計期間の連結業績は、売上高は549億1千9百万円となり、前年同四半期に比べ61億1千1百万円(12.5%)の増収となりました。

利益面では、営業利益は6億7千9百万円で、前年同四半期に比べ3千2百万円(4.5%)の減益となりました。

また、円安による為替差益の発生により、経常利益は22億3千8百万円で前年同四半期に比べ13億3千1百万円(146.8%)の増益、四半期純利益は4億8千4百万円となり、前年同四半期に比べ3億7千2百万円(334.3%)の増益となりました。

当社グループのセグメント別経営成績の概況は次の通りであります。

(樹脂化成品)

国内の印刷インキは、出版および広告印刷の低迷に伴い減少傾向にありますが平版インキ生産量は前年並みとなり、当社の印刷インキ用樹脂は前年同期並みの販売を維持しました。粘接着剤用樹脂はロジン価格の高騰と、中国での石油樹脂製品との価格競争力低下により伸び悩み、収益面でも厳しい状況でした。

塗料用樹脂は、消費税増税前の駆け込み需要や復興需要の下支えもあり新設住宅着工戸数が増加し堅調に推移しました。

国内の自動車用タイヤの需要は回復傾向となるとともに、円安効果もあり輸出が好調に推移したことで、自動車用タイヤなどの合成ゴムの製造に使用される乳化剤は、低調だった前年から回復し、一昨年同期並みとなりました。

ナフサ価格の上昇、ロジン価格の高騰による原料価格上昇を製品価格へ転嫁するよう努めましたが、厳しい状況が続きました。

その結果、当部門の売上高は159億1千9百万円と前年同四半期に比べ6千5百万円(0.4%)の増収となりました。セグメント利益は1億1千2百万円と前年同四半期に比べ1億2千2百万円(52.1%)の減益となりました。

(製紙用薬品)

国内の紙・板紙生産量は消費税増税前の駆け込み需要もあり、引き続き回復基調で推移しましたが、製紙用薬品の競合の激化により、販売量は伸び悩みました。

中国では紙・板紙生産量は、前年とほぼ同水準で推移しており、段ボール原紙の生産量は、輸出の低迷により前年を割り込む見通しです。そのため、製紙メーカー間の競争および製紙用薬品の競合がより一層激しくなっています。米国ではサイズ剤の販売が好調であり、業績は堅調に推移しました。

その結果、当部門の売上高は108億8千6百万円と前年同四半期に比べ16億8百万円(17.3%)の増収となりました。セグメント利益は円安により原料価格が上昇したものの、製品価格への転嫁が進まなかったことから、3億8千4百万円と前年同四半期に比べ1億3千9百万円(26.6%)の減益となりました。

(電子材料)

当部門が関連する国内自動車業界の生産台数は、第3四半期に入り前年比110%と好調に推移しました。米国、中国の生産台数も好調で、世界的にも自動車業界の生産台数は、前年を上回る結果となりました。

また民生用電子機器の国内出荷金額は、10月以降回復傾向にあり3カ月連続前年を上回りました。映像機器も大画面テレビが好調で2カ月ぶりに前年を上回りました。

このような環境下、当部門の国内売上高は自動車用熱交換器に使用されるアルミニウム用ろう材ペースト、新規導電性ペーストの販売増により、増収増益となりました。

海外においても世界の自動車業界の好調を受け、アルミニウム用ろう材ペーストの販売が増加し、増収増益となりました。

その結果、当部門の売上高は38億6千5百万円と前年同四半期に比べ6億8百万円(18.7%)の増収となりました。セグメント利益は2億7千2百万円と前年同四半期に比べ1億7千9百万円(192.6%)の増益となりました。

(ローター)

当部門の主要市場である欧州・北米では、主力市場である欧州が景気低迷の影響を受け、印刷インキ用樹脂の販売は、回復の兆しはあるものの、引き続き厳しい状況で推移しました。

一方、粘接着剤用樹脂は、欧州、南米、アジア、オセアニアで堅調に推移し、全体としては、印刷インキ用樹脂の落ち込みをカバーすることができました。

その結果、当部門の売上高は229億6千7百万円と前年同四半期に比べ37億8千9百万円(19.8%)の増収となりました。セグメント損失は3億1千万円と前年同四半期に比べ4億5千1百万円の改善となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は667億8千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ54億3千万円増加しました。自己資本比率は43.5%となりました。増減の主なものは、流動資産では売上高の増加に伴い受取手形及び売掛金が24億6千9百万円増加しました。流動負債では原材料仕入の増加に伴い支払手形及び買掛金が21億3千7百万円増加し、運転資金の需要により短期借入金30億9千7百万円増加しております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

世界経済は、緩やかながらも上昇すると見込まれますが、欧州の債務問題や米国の金融緩和策の影響、中国経済の先行きなど不透明な状況が続いております。日本においては、昨年末からの円安進行による輸出環境の改善や政府の経済対策効果への期待などにより、企業業績に回復の兆しがあるものの、当社グループにとりましては円安による原料価格の騰勢など不透明な事業環境が続くことが見込まれます。

このような環境下、海外売上高比率が50%を超える当社グループは、グローバルに展開した拠点網を活かし、世界各地域の経営環境や顧客ニーズの変化を的確に捉え、業績回復に全力で取り組んでまいります。

なお、当期(2013年4月1日から2014年3月31日)の通期の業績予想につきましては、2013年11月1日の第2四半期決算発表時の公表数字を修正しておりません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2013年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2013年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,474,847	4,516,230
受取手形及び売掛金	17,542,313	20,011,956
商品及び製品	5,012,759	5,250,645
原材料及び貯蔵品	4,243,564	5,049,690
その他	2,865,238	3,672,980
貸倒引当金	122,895	103,139
流動資産合計	33,015,828	38,398,363
固定資産		
有形固定資産		
土地	10,664,738	10,192,573
その他(純額)	11,833,515	12,333,576
有形固定資産合計	22,498,254	22,526,149
無形固定資産		
その他	882,830	712,074
無形固定資産合計	882,830	712,074
投資その他の資産		
その他	4,973,037	5,163,583
貸倒引当金	14,915	14,915
投資その他の資産合計	4,958,122	5,148,668
固定資産合計	28,339,207	28,386,892
資産合計	61,355,035	66,785,256

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2013年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2013年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,854,481	8,991,693
短期借入金	8,662,615	11,760,454
1年内返済予定の長期借入金	1,736,782	1,830,489
未払法人税等	648,634	832,151
役員賞与引当金	-	6,510
その他	3,882,306	3,636,124
流動負債合計	21,784,821	27,057,424
固定負債		
長期借入金	6,014,853	5,444,443
長期預り保証金	934,589	855,585
退職給付引当金	868,477	912,393
役員退職慰労引当金	463,624	484,828
資産除去債務	46,052	46,520
その他	1,419,899	1,522,640
固定負債合計	9,747,496	9,266,412
負債合計	31,532,318	36,323,836
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,012,951	10,012,951
資本剰余金	9,744,379	9,744,379
利益剰余金	9,742,457	9,863,248
自己株式	61,998	62,065
株主資本合計	29,437,790	29,558,513
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	509,997	1,000,215
為替換算調整勘定	1,437,448	1,502,029
その他の包括利益累計額合計	927,450	501,814
少数株主持分	1,312,377	1,404,721
純資産合計	29,822,716	30,461,420
負債純資産合計	61,355,035	66,785,256

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2012年 4月 1日 至 2012年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2013年 4月 1日 至 2013年12月31日)
売上高	48,807,878	54,919,627
売上原価	39,296,088	44,703,207
売上総利益	9,511,789	10,216,420
販売費及び一般管理費	8,799,938	9,536,709
営業利益	711,850	679,710
営業外収益		
受取利息	34,916	33,725
受取配当金	52,016	55,364
不動産賃貸料	88,976	95,408
為替差益	260,602	1,451,146
その他	130,301	229,685
営業外収益合計	566,812	1,865,329
営業外費用		
支払利息	282,737	241,380
その他	89,022	65,314
営業外費用合計	371,759	306,695
経常利益	906,903	2,238,345
特別利益		
保険解約返戻金	-	142,148
固定資産売却益	25,992	-
特別利益合計	25,992	142,148
特別損失		
固定資産売却損	-	425,702
減損損失	-	55,032
特別損失合計	-	480,734
税金等調整前四半期純利益	932,895	1,899,759
法人税、住民税及び事業税	609,025	1,112,265
法人税等調整額	220,384	197,502
法人税等合計	829,410	1,309,767
少数株主損益調整前四半期純利益	103,485	589,991
少数株主利益又は少数株主損失()	7,984	105,913
四半期純利益	111,470	484,078

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2012年 4月 1日 至 2012年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2013年 4月 1日 至 2013年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	103,485	589,991
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	26,100	490,174
為替換算調整勘定	434,938	70,238
持分法適用会社に対する持分相当額	4	42
その他の包括利益合計	408,832	560,455
四半期包括利益	305,346	1,150,447
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	306,613	909,714
少数株主に係る四半期包括利益	1,266	240,732

(3)継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4)セグメント情報

前第3四半期連結累計期間(自 2012年4月1日 至 2012年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					その他 (注1) (千円)	合計 (千円)	調整額 (注2) (千円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3) (千円)
	樹脂化成品 (千円)	製紙用薬品 (千円)	電子材料 (千円)	ローター (千円)	計 (千円)				
売上高									
外部顧客に 対する売上高	15,853,480	9,277,655	3,256,998	19,177,778	47,565,913	1,276,647	48,842,561	34,683	48,807,878
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	160,538	449,161	-	206,392	816,091	45,222	861,314	861,314	-
計	16,014,018	9,726,816	3,256,998	19,384,171	48,382,005	1,321,870	49,703,876	895,997	48,807,878
セグメント利益 又は損失()	234,264	523,994	93,123	761,960	89,422	71,650	161,072	745,830	906,903

当第3四半期連結累計期間(自 2013年4月1日 至 2013年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					その他 (注1) (千円)	合計 (千円)	調整額 (注2) (千円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3) (千円)
	樹脂化成品 (千円)	製紙用薬品 (千円)	電子材料 (千円)	ローター (千円)	計 (千円)				
売上高									
外部顧客に 対する売上高	15,919,246	10,886,253	3,865,561	22,967,297	53,638,359	1,283,642	54,922,002	2,374	54,919,627
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	163,851	498,330	-	171,181	833,364	91,172	924,536	924,536	-
計	16,083,098	11,384,584	3,865,561	23,138,478	54,471,723	1,374,815	55,846,539	926,911	54,919,627
セグメント利益 又は損失()	112,248	384,670	272,465	310,410	458,973	117,517	576,490	1,661,855	2,238,345

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、主に「不動産管理事業」等を含んでおります。

(注2) セグメント利益又は損失()の調整額は、各報告セグメントに配分していない棚卸資産の調整額、為替差損益等が含まれております。

(注3) セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

(5)株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

2014年3月期 第3四半期決算短信
別紙ご参考資料

1. 設備投資額

	2013/3期		2014/3期	
	第3四半期(実績)	通期(実績)	第3四半期(実績)	通期(計画)
連結	16.4億円	22.9億円	11.8億円	20.0億円

2. 減価償却実施額

	2013/3期		2014/3期	
	第3四半期(実績)	通期(実績)	第3四半期(実績)	通期(計画)
連結	15.1億円	21.0億円	16.1億円	22.0億円

3. セグメント別売上高

	2013/3期		2014/3期	
	第3四半期(実績)	通期(実績)	第3四半期(実績)	通期(計画)
樹脂化成品	158.5億円	205.4億円	159.1億円	207.7億円
製紙用薬品	92.7億円	124.1億円	108.8億円	148.1億円
電子材料	32.5億円	43.6億円	38.6億円	50.7億円
ローター	191.7億円	252.9億円	229.6億円	310.9億円
その他	12.7億円	15.9億円	12.8億円	17.6億円
調整額	0.3億円	0.1億円	0.0億円	-
合計	488.0億円	642.0億円	549.1億円	735.0億円

4. 海外売上高

	2013/3期		2014/3期	
	第3四半期(実績)		第3四半期(実績)	
	金額	比率	金額	比率
南北アメリカ	92.2億円	18.9%	111.4億円	20.3%
アジア	59.4億円	12.2%	72.4億円	13.2%
欧州他	105.2億円	21.6%	127.9億円	23.3%
合計	256.9億円	52.7%	311.9億円	56.8%